

神代地域運営体だより

第21号

平成25年12月1日号

発行機関 神代地域運営体

発行責任者 藤井英雄

神代字野中清水 292-1

産業振興支援部から

11月8日午後から小学校3年生32人（欠席2人）とダイコン掘りをしました。運営体役員から掘り方や葉の取り方を教わり、いざ畑へ出陣。「先生・重いです。持てません」「太い」「細い」いろいろな声があちらこちらから。



いぶりダイコン用として約1,000本を収穫しました。最後は、収穫したダイコンを片手に記念写真です・この後、運営体の会員（佐藤和さん）にお願いして、ダイコンをいぶりますが、その前にダイコンを縛っていぶり小屋に吊す作業があります。



いぶりダイコン漬け 11月15日

収穫したダイコンを今日漬け込みました。神代小学校と神代地域運営体が協働でいぶりダイコン作りをしておりますが、小学校では授業に取り入れ「地域で継承されてきた食の文化」を知ってもらおうと、畑作りから種まき、収穫、漬け込み、販売を体験させています。



今回は、3年生の児童が4班に分かれて、地域運営体の会員（おばあちゃん）の指導を受けながら、約160キロの燻されたダイコンを手際よく洗い水を切り、先端を切って準備しておいた柿や塩、砂糖等と混ぜ合わせ、一時間ほどの作業で無事終了しました。

児童からは、初めて作業をしてみて「教えてもらったことを、家庭で参考にしてみたい」「材料の混ぜあわせが思ったよりうまくいった」「おいしく出来ればいいな」といろいろな感想がありました。

この後は、1月の下旬には食べ頃になり、これを児童が決められた分量にカットし、真空パック詰めと順を踏んでの作業がまっております。なお、これらの体験学習で作ったいぶりダイコンは、キッズマートで販売したり、翌年の修学旅行の旅先で販売やPRに利用します。また、収益金は学校教材に役立てます。



農産加工所設置と利用について

田沢湖福祉医療センター敷地に設置しました農産加工所ですが、「神代ゆきつばき加工クラブ」（代表 藤川清子）と連携を図り、地域の方々のお役に立てになることはもちろん、地元「神代の特産品の開発」を地域の方々のご協力を頂き、さらに、農水省出身の田邊副市長からの適切なアドバイス頂きながら、農産加工品の6次化に向けて活動して行きたい



と思っております。後日、利用方法や利用料金等についてご案内致します。

多くの皆様と加工研究をして行きたいと思っておりますので、是非賛同いただきたいと思っております。

福祉支援部からのお知らせです

昨年まで運営体除雪支援事業で除雪作業をボランティア活動として行い、その費用については運営体経費からボランティアの方々へ少しばかりの報酬をお支払いして参りましたが、地域の皆様からいろいろなご意見があり、事業の見直しをした結果、今年は除雪依頼者の受益者負担といたしました。

つきましては、昨年まで除雪をされていた方に続けてお願いしたいと考えておられる方は、事務局までご連絡下さい。運営体事務局から除雪作業受託者の方々に依頼のご連絡をし、ご自宅の除雪のお願いをいたします。なお、ご不明な点がありましたら運営体事務局までお問い合わせ下さい。

作業料金と作業内容

連絡先 運営体事務局 44-2112

1. 除雪をお願いしたい方は、これまで除雪されている作業受託者の方に有料でお願いします。
(1回につき1,000~1,500円の自己負担となります)
2. 除雪の範囲はこれまでと同じとしますが、それ以上の除雪作業については作業する方とご相談の上、料金設定して下さいをお願いします。
3. 除雪作業をする方々には、運営体で共済保険(傷害)に加入いたします。

生活環境支援部から

☆今年も普通救命講習会を開催いたします

地域住民のみならず、地域内事業所を対象とした普通救命と自動対外式除細動器(AED)の正しい使用方法や救急時の対応を学びます。くわしくは次号の運営体たよりでお知らせします。

受講された方には、普通救命講習修了証の交付があります。



昨年の講習会から

今年を振り返り来年度に向けて

いよいよ師走です。地域の皆さんにおかれましては、多忙な日々をおくられていることと存じます。

当運営体も設立後4年目を迎え、当初策定致しました長期5カ年計画に基づき初期の目的でもありました、地場産物の生産から加工、販売システムの確立、6次産業化にもっとも重点を置き最重要課題として取り組んできましたが、今年度、待望の農産加工所の設置並びに加工機械の導入を見ることができました。今後は農業を基幹産業とする神代地域の活性化により貢献できるよう、地域の皆様のお声を大切にし「神代ゆきつばき加工クラブ」と連携を図りながら推進して参ります。

さらに、来年度は現在の5つの各支援部の過去4カ年の活動実績と課題等を積み上げ、新たな長期計画を策定し、自立できる神代地域運営体となって行くことを目標に活動を進めて行きたいと考えております。

神代地域運営体会長 藤川正博